

Q. 人間の身体はどれくらい浮くの？ (た——っぷり息を吸った時)



A. 2%くらいしか浮きません！

※体の中に空気がいっぱいある時

流れている水や波のあるところだと、息ができずに、おぼれてしまうことがあります。そして、ほとんどの人は息をはくとしずんでしまいます。自然の水辺では、プールでバリバリ泳げる人でも、オリンピックに出た水泳選手でもおぼれてしまうことがあるんです…。



「ライフジャケット」をつけると顔が水より上にあがります！

だから、水辺に近づく時は…

「かっぱの“お・さ・ら”」を大切に！
「ライフジャケット」を準備しておこう！！

～ 大人の方へ ～

子どもたちは思っているより浮きません。なので、一瞬で沈んでしまうことがあるんです。子どもたちがおぼれる時は、音も立てずにしずかにおぼれる—とされています。見守る時は腕の届く範囲で、そして、必ず「ライフジャケット」を準備してくださいね！大人も「ライフジャケット」をお忘れなく！！

動画でわかる！



ライフジャケットの
「水辺の安全教室」

水辺に出かける前に、お子さんと一緒にこちらのWebサイトで 学んでください！



子どもたちに
ライフジャケットを！



学校における水辺事故
防止対策強化事業



公益財団法人
日本ライフセービング協会
「Life Saving」



公益財団法人 河川財団
「水辺の安全ハンドブック」

本資料は、学校や園などでの教育目的での使用に限り、ご自由にお使いいただけます。資料の転載・改変はご遠慮ください。複製またはその他の使用をご希望の場合は、こちらに事前に連絡をお願いします。▶「子どもたちにライフジャケット」 info@lifejacket-santa.com

おぼえよう！ よい子の水辺の おやくそく

～「ライフジャケット」は命のおまもり～



楽しく水辺で遊ぶための合言葉、覚えてかな？

「かっぱの“お・さ・ら”！」

海や川、湖や池などの水辺では気をつけないとあふないところがあるよ。

「かっぱの“お・さ・ら”」の合言葉を覚えよう！！



おとなといっしょに！！

子どもだけで水辺に近づかないこと！水辺では、足をすべらせてころんだり、急に深くなっていたりして、おぼれてしまうことがあります。



サンダルはぬげないものを！！

水辺ではサンダルやぼうしなど、落としてしまったものをひろおうとしたり、流されたものを追いかけていたりして事故につながる場合があります。まずは、ぬげないもの（かかとがとめられる「サンダル」や「くつ」）をはくこと！何かを落としたり、流されたりしたら、近くににいる大人に助けてもらおう！



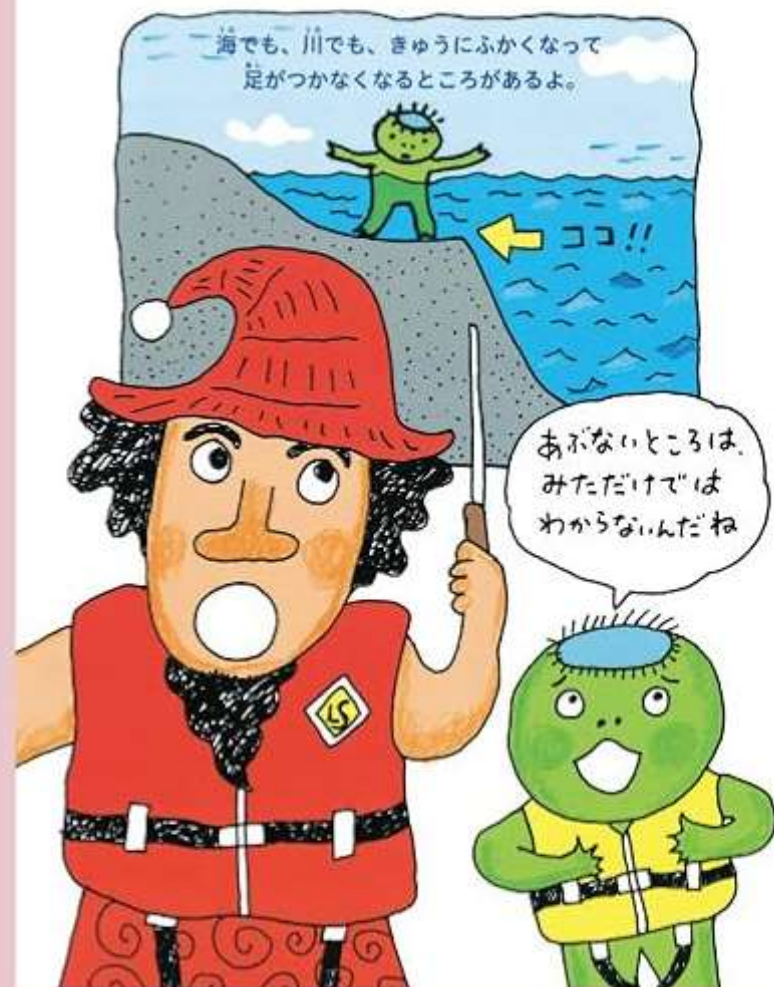
「ライフジャケット」をつけよう！！

水辺では「ライフジャケット」をつけることを忘れずに！事故が起こってしまっても「ライフジャケット」をつけていた人のほとんどが助かっています。準備できる時は必ず、「ライフジャケット」をつけよう！



「ライフジャケット」をつけると安心だね。

こんなところがあぶない!



その日から、ふうちゃんは、れんしゅうをはじめました。
ライフジャケットがおしえてくれます。

「ライフジャケットは、
からだにピタッとあうものをえらぼう。
おまのひもがついているものにしてね。
色は、めだつ色がおすすめだよ！」

大きすぎるものは……



ライフジャケットのつけかた

まえ



まえのチャックをしめる！

まえ・よこ・おまの
おやくそく！

よこ



よこのベルトをしめる！

ゆるみやすいので
しっかりと。
ちょっと
きつくくらいに。

おっと！ わすれちゃいけない！

おまた

おまたの
ベルトを
しめる！



氷にういたとき、
ライフジャケットが
ぬげないようにね

さいごは おとなに
かくにんしてもらおう！



よく
できま
げた！

